

私たちが環境を考えるきっかけに



そらんぽ四日市
ホームページ

四日市公害と環境未来館では、今年度も「公害・環境に関する研究作品展」を開催します。

例年150点前後の作品が集まる本展には、今年度も三泗地区の小・中学校から100点を超える公害・環境に関する研究作品の出展がありました。

出展された作品は、四日市公害やプラスチックごみ問題、地球温暖化など幅広いテーマを取り上げています。関係者へインタビューをしたり、多くの資料を集めて調査したりするなど、出展者の作品に取り組む努力が伝わってきました。

出展作品は1点1点すべてに職員が

目を通した上で選考会を行い、優秀な作品は、後日表彰するほか、研究発表会で出展者に発表していただきます。

なお、出展されたすべての作品は12月10日(土)から12月18日(日)まで、じばさん5階で一般公開しますので、子どもたちの力作をぜひご覧ください。



昨年度の表彰式

☎ 四日市公害と環境未来館 (TEL) 354-8065 (FAX) 329-5792

弥生時代の悠久の想い 伊坂の銅鐸

銅鐸どうたくとは、弥生時代に、稲作に関係する祭りで使われたと考えられる青銅製の鐘です。初期のものは小型で、吊るして、内部にある棒を当て音を鳴らしていましたが、時代とともに装飾が施され、大型化していきました。全国で430個ほど見つっていますが、その多くは山の斜面などに埋められた状態で発見されています。



写真の銅鐸は、文久2(1862)年に、菟上耳利神社(伊坂町)西方の重地山じゅうちで、薪採りに入った農民2人が発見し、掘

り出したという記録があり、三重県指定有形文化財です。

弥生時代中期のもので、高さ40.4cm、僧侶が身に付ける衣装に似た袈裟さだすきもん文とよばれる文様が施され、音を鳴らしていた痕跡も見られます。

2000年前の弥生時代の人々が、どのような思いで銅鐸を山に埋めたのか。銅鐸が出土した菟上耳利神社周辺を訪れ、悠久ゆうきゅうの時を感じてみませんか。



市ホームページ

菟上耳利神社周辺

☎ 文化課 (TEL) 354-8238 (FAX) 354-4873